

第9代 甘楽町長

森平仁志 町長に聞く

INTERVIEW

7月23日に第9代甘楽町長に就任された森平仁志町長にまちづくりへの思いなどを聞きました。

森平 仁志(もりだいら ひとし)

プロフィール

甘楽町天引出身、63歳。
富岡高校、日本大学農獣医学部農業工学科卒業後、甘楽町役場に入庁。総務課秘書係長、企画課長などを経て、平成28年に副町長に就任。7月7日執行の町長選挙に無所属で立候補し、今回初当選。

町

議会議員再選挙

当選者(無投票)

甘楽町議会議員再選挙が7月2日に告示され、欠員2に対して届出者2人で、無投票当選となりました。任期は7月8日から令和9年4月26日までです。



なかじょう みちあき
中条 道明
59歳・小幡
(1期目)

議員としての自覚を持ち、町の皆さんの声を幅広く聞き、町政に届けたいと思います。子育てにやさしく高齢になっても安心して暮らせる町づくりを目指し、甘楽を魅力溢れる町にするため、誠心誠意全力で頑張ります。



はぎわら かずあき
萩原 一章
67歳・白倉
(1期目)

議員数が定数に満たないということは、最も身近な議会として由々しき事態であるの思いから、再選挙に立候補いたしました。町民の皆さまの代表であるという自覚をしっかりと持ち、職責の遂行に努めてまいります。



職員を前に「町長訓示」

「あわせホーム タウン甘楽」の 実現を目指す 8つの柱

- いきいきと暮らせる健康づくり推進と福祉の充実
- 子育てと教育の充実
- 農業と商工業の事業継承支援
- 甘楽スマートインターチェンジ周辺整備
- オーガニックベレジ宣言に基づく事業推進
- 道路の利便性向上
- デジタル技術による生活向上
- 町有施設と町有地の有効活用

誰もが安心して暮らせるまち、
甘楽町らしさを未来へつなぐ

「町長に就任された今の率直なお気持ちをお聞かせください。」

20年ぶりの新町長ということで、改めて責任を痛感しています。

「町の強みや魅力は何ですか。」

甘楽町は大きな災害も少なく、首都圏へも近く、何よりも町民の皆さんがまちづくりに一生懸命協力してくれる姿勢があるところが一番の強みだと思っています。

「町の課題は何だと思いますか。」

甘楽町に限らず人口減少はどの市町村も課題であり、若い世代が減っている状況があります。町に若い人が暮らしたいと思えるようなまちづくりが必要だと思います。また、農業や商工業などについては、事業継承の難しさなどもあると思うので、そういったことが課題だと考えています。

「これからのまちづくりについて、どんな町にしていきたいですか。」

いつもお話しするのは「近き者悦びて遠き者来たる」という『論語』

の中の孔子の言葉です。「町に住んでいる人が住んでいて良かった、幸せだと思ってくれる町であれば、必然と遠くからも人が集まって町に移り住んでくれる」ことを念頭にやっていきたいと思っています。また、20年続いた茂原前町長が行ってきたまちづくりの良い流れを変えない、止めないよう引き継ぎ取り組んでいきたいと思っています。子育てや教育、福祉、健康づくりなどさまざまな施策は1日では答えは出ません。誰もが安心して暮らせるまち、甘楽町らしさを未来へつなぐしていきたいと思っています。

「町民の皆さんにメッセージをお願いします。」

無投票当選であるからこそ、町民の皆さんの声に誠実に向き合い、町政に反映していきたいと思っています。多くのご意見をお聞かせいただき、町民の皆さんと共にまちづくりを行っていききたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

7月23日、支持者や職員が出迎える中、森平町長が初登庁

第8代 茂原荘一町長が退任 20年を振り返る

甘楽町の発展とまちづくりに平成16年から5期20年にわたり尽力された茂原荘一第8代甘楽町長が、7月22日付けで退任されました。

初当選時から「この町に生まれてよかった、住んでよかったと思える町づくりを」との思いを抱き、さまざまな施策を実現してきました。

そして、町政は新町長へと引き継がれました。



支持者や職員に見送られ、役場を後にする茂原町長



茂原町長 退任のごあいさつ

平成の市町村大合併の嵐が吹き荒れる中、前黒沢常五郎町長が「町は合併せず自立の道を」と議会の了承を得て決定したあとを受けての町長就任でした。

まずは財政の立て直しの計画「まちおこしプラン」による行財政改革に、職員をはじめ多くの町民の皆様の協力を得て取り組んで何とか乗り越えることができました。感謝です。

そして町制施行50周年の記念事業や、第5次総合計画の「キラッとかんら安心のまち」を目指してきました。その後、60周年を迎え第6次総合計画、あたたかなふるさと「しあわせホームタウン甘楽」を推進してきました。

職員時代の新総合計画づくりからその実行に努めてきましたが、それらの中で多く使われた言葉が『歴史・文化・ゆとり・心・元気・安心・しあわせ・活力』などでした。

住む人が誇りをもって暮らせる町、町民の皆さんに「いい町だ」と言ってもらえる町を目標に取り組んできた20年です。

皆さんと一緒にまちづくりに携われたことを誇りに思います。

ありがとうございました。

茂原荘一

かんら保育園年長児の皆さんがお別れのあいさつに来てくれました。
【関連は16ページ】

茂原町長 まちづくりの主な軌跡

- ▼第1期
平成16年 まちおこしプラン策定協議開始
同プラン住民懇談会設置
- 平成17年 「まちおこしプラン」策定
- 平成18年 教育長に柴山豊さんが就任
- 役場業務水曜日2時間延長開始
- 町有施設の利用者負担導入
ごみ袋の有料化
- 平成19年 行政連絡区担当職員制度開始
- 平成20年 姉妹自治体交流表彰で総務大臣表受賞
- ▼第2期
平成21年 町制施行50周年
- 「甘楽町民の日」制定
- ふるさと納税制度スタート
- まちづくり定住応援金スタート
- 地域活動支援センター開所
- 平成22年 歴史的風致維持向上計画認定
- 幼稚園給食無料化スタート
- 平成23年 長岡今朝吉記念ギャラリー開館
- 「道の駅甘楽」オープン
- ▼第3期
平成24年 ハルビン市友好交流20周年
- 国指定名勝楽山園開園
- 「第5次総合計画」がスタート
- 平成25年 秋畑地域交流センターオープン
- お休み処信州屋オープン
- 副町長に由田進さんが就任
- チエルタルド市友好親善姉妹都市協定30周年
- 平成26年 デマンドタクシー「愛のりくん」本格運行開始
- 燃やせるごみの週2回収集開始
- 雄川堰が世界かんがい施設遺産に選定
- 須田賢司さんに名誉町民の称号
- 平成27年 「かかあ天下ーぐんまの絹物語」が日本遺産に認定（町内の構成文化財3件）
- 町長が群馬県総合表彰受賞
- 稲葉美代子さんをチエルタルド市海外駐在員に任命
- 町総合教育会議を設置
- 町が防衛大臣感謝状受賞
- 平成28年 甘楽中学校開校

- ▼第4期
平成28年 副町長に森平仁志さんが就任
- 教育長に近藤秀夫さんが就任
- 平成29年 福島北防災広場完成
- 第20代群馬県町村会長就任
- 北区友好都市交流協定20周年
- 平成30年 「にこにこ甘楽」オープン
- 平成31年・令和元年 町制施行60周年
- 東京オリンピック、ニカラグア共和国のホストタウンに決定
- 町長が群馬県功労者表彰受賞
- 令和2年 新型コロナウイルス対策で、国の要請を受け小中学校臨時休校
- 新型コロナウイルス感染症対策として多くの施策に取り組む
- 甘楽ふるさと館「せせらぎの湯」増築
- 織田公園完成
- ▼第5期
令和3年 甘楽富岡4市町村「定住自立圏協定書」締結
- ハルビン市友好交流30周年
- 全国町村会政務調査会経済農林委員長に就任
- 令和4年 小中学校給食費無料化スタート
- 「第6次総合計画」がスタート
- 公私連携型「かんら保育園」開園
- 公私連携・幼保連携型認定こども園「めぶきの森かんら」開園
- 関東町村会長に就任
- 農林水産省「食料・農業・農村政策審議会」臨時委員に就任
- 令和5年 JICA海外協力隊派遣覚書締結
- 甘楽スマートインターチェンジ開通
- 全国町村会監事に就任
- 「オーガニックビレッジ宣言」
- チエルタルド市友好親善姉妹都市協定40周年
- 令和6年 オーガニック推進協議会設立



オーガニックビレッジ宣言